

「環境再生計画」に基づく県の取組状況等

1 自然再生（森林整備）

「森林整備計画」に基づき、八戸市森林組合と連携し、樹木の生育状況の評価や、つる植物やグミの剪定等による植栽地の管理を行っている。

【令和 6 年 7 月 八戸市森林組合による生育状況の評価】

「ハンノキ、アカマツ、ヤナギ、グミの木など、森を形成する初期段階に見られる先駆樹種の成長が目立っており、全体的な生育状況はおおむね順調である。つる植物は樹木に絡まって生長を阻害するので今後も除去してほしい。現場内に様々な動物の糞が見られ、野生動物※がきていることがわかる。森林化してきている良い兆候である。」

※ 現場内で確認されている野生動物
ツキノワグマ、アナグマ、キジ

2 地域振興

青森県の有効活用エリア（現在 1 号雨水貯留池として使用中）について、岩手県との一体的な利活用の実現可能性を探るため、情報収集を行っている。

岩手県では、令和 7 年 1 月に「第 5 回県境不法投棄事案に関するフォローアップ会議」が開催され、令和 6 年 9 月に実施した岩手県側現場土地の公売に向けた市民・企業向け現場等説明会の結果及び今後の公売スケジュール等について説明が行われた。

○公売時期：令和 7 年度予定

○公売面積：約 15ha

※ 岩手県の資料は資料 3 - 2 のとおり。

3 情報発信

(1) ウェブアーカイブの更新

環境モニタリング調査結果、植栽地の定点撮影写真や原状回復事業の記録等を速やかに更新している。

なお、令和 6 年 11 月時点の植栽地の定点撮影写真は資料 3 - 3 のとおり。

○アーカイブ年間アクセス件数（平成 26 年 7 月公開）（単位：年度、件）

H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R 2
5,752	10,054	8,353	8,168	6,427	5,537	5,692
R 3	R 4	R 5	R 6			
5,690	7,911	5,314	3,527			

※ 令和 6 年度は 12 月末時点（昨年度同期間〔4～12 月〕：4,104 件〔85.9%〕）。

※ 令和 5 年度から県ホームページのアクセス件数の算出方法が変更となっている。

※ 従前は Web サイトのページ単位で計測されてきたが、変更後は一連の流れでのアクセスは、同一ユーザとして計測される。

(2) 県境不法投棄現場跡地動画の公開

令和5年度東北福祉大学産業福祉マネジメント学科野呂ゼミにおける学生からの意見を参考に、県境不法投棄現場跡地の状況について、令和6年11月にドローンにより撮影、12月に動画サイト「YouTube」に「青森・岩手県境不法投棄現場跡地（令和6年11月）」として公開、併せてウェブアーカイブからも当該動画を視聴できるようにリンクした。

視聴時間：約 11 分	動画のQRコード
	

(3) 現場見学

不法投棄現場の原状回復状況や森林整備状況等を直接見ていただけるよう、現場見学の希望に対応しており、継続していく。

【過去3年の見学者数】

(単位：人)

区 分	R 3	R 4	R 5	R 6 (12月迄)
一般	3	1	14	12
教育機関	68	6	33	27
自治体（本県以外）	4	3	6	1
本県関係	10	15	5	
合 計	85	25	58	40

(4) 公共施設等での資料展示

田子町立上郷公民館及び現場事務所において写真パネル、田子町立図書館において映像資料、冊子資料及びウェブアーカイブ資料の配置を継続している。

(5) 教育機関等との連携

若い世代への環境保全啓発の一環として、令和6年10月に県内の全高等学校（県立46校、私立17校）に対し、ウェブアーカイブの周知に係る依頼文書を発出した。

※ 令和5年度は、小学校（田子町周辺自治体）及び中学校（八戸市及び三戸郡内）に対して当該依頼文書を発出。また、東北福祉大学産業福祉マネジメント学科野呂ゼミに、検討テーマの一つとして、ウェブアーカイブの利活用、情報発信方法を取り上げていただき、学生による現場視察や意見交換を行った。